

第3回南九州水産海洋研究集会

「海況情報の現状と展望～有効活用を目指して～」

共催：一般社団法人水産海洋学会，宮崎県水産試験場，鹿児島県水産技術開発センター，  
鹿児島大学水産学部，水産総合研究センター中央水産研究所

日時：2015年10月29日（木） 13：05～17：00

場所：宮崎県企業局県電ホール（宮崎市旭1-2-2）

コンビナー：渡慶次 力（宮崎水試），宍道弘敏（鹿児島水技セ），中村啓彦（鹿大水），  
清水 学（水研セ中央水研），高橋浩二（JAFIC）

挨拶：和田時夫（一般社団法人水産海洋学会会長） 13：05～13：10

神田美喜夫（宮崎水試） 13：10～13：15

趣旨説明：渡慶次 力（宮崎水試） 13：15～13：25

話題提供

1. 日本周辺海域における海況情報の提供と活用

座長：宍道 弘敏（鹿児島水技セ）

(1) 水産総合研究センターの事例～海況情報収集・予測システム等～

清水 学（水研セ中央水研） 13：25～13：50

(2) JAFIC の事例～漁業向け海況・気象情報サービス等～

高橋浩二（JAFIC） 13：50～14：15

2. 南九州各県海域における海況情報の提供と活用

座長：清水 学（水研セ中央水研）

(1) 鹿児島県の事例～フェリー情報等～ 小路口拓輝（鹿児島水技セ） 14：15～14：35

(2) 宮崎県の事例～浮魚礁・漁船情報等～ 林田秀一（宮崎水試） 14：35～14：55

(3) 大分県の事例～赤潮監視と漁業被害軽減～ 宮村和良（大分水研） 14：55～15：15

（休憩） 15：15～15：30

(4) 熊本県の事例～環境調査・赤潮モニタリング等～  
多治見誠亮（熊本水研セ） 15：30～15：50

3. 漁業者の目線

座長：渡慶次 力（宮崎水試）

(1) まき網漁業による海況情報の利用 宇戸田実也（北浦漁協） 15：50～16：10

(2) 曳縄漁業による海況情報の利用 村本秀則（日南市漁協） 16：10～16：30

4. 総合討論

座長：渡慶次 力（宮崎水試），宍道弘敏（鹿児島水技セ），中村啓彦（鹿大水），  
清水 学（水研セ中央水研），高橋浩二（JAFIC） 16：30～17：00

**開催趣旨：**南九州の漁業者は多様な漁業種類により，各地先海域のみならず東シナ海から太平洋までの広範囲において，水温・潮流・海色等様々な海況情報を利用して操業している．海況情報の利用により，漁船漁業者は出漁の判断や漁場選択・漁場における操業効率化を図り，魚類・のり等の養殖業者は対象生物への影響や赤潮等による被害軽減を図っている．一方，水産研究機関では水産資源変動要因の解明や漁場管理等のために海況情報を取得・利用しつつ漁業者へ情報提供している．しかし，水産研究機関以外からの情報提供も急増しており，海況情報が膨大な種類・情報量となっている．そのため，漁業関係者に十分認知されていない海況予測のような情報も多く，利用が進んでいないのが現状である．漁家経営の安定・向上のため，海況情報の現状を漁業関係者へ分かりやすく周知すると共に，各利用者の要望を踏まえたより使いやすい情報提供へと改良していく必要がある．本研究集会では，海況情報をテーマに，各機関から提供されている外洋から地先に至る情報と水産関係者による利用実態について紹介し，漁業者・行政・研究者間で，現状認識と問題点を整理・共有した上で，提供・活用のあり方を議論する．